

# クリフストーン1型・2型 門袖 角門柱

## 取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 裏表紙の「施工上の留意点とお願い」を必ずお守りください。お守り頂かないとケガや破損の原因となります。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

### 梱包確認表

- お買い上げいただきました仕様の梱包数を確認してください。

#### 1 型門袖

##### ① 1 型門袖 独立仕様(標準)

名 称	梱包数
門袖本体独立仕様 標準	1
1 型門袖割石セット 共通部 A	1
1 型門袖割石セット 共通部 B	1
1 型門袖割石セット 共通部 C	1
1 型門袖・角門柱共通割石セット 独立仕様部	1
1 型門袖割石セット ポスト部	1
門袖笠木セット 標準用	1
目地モルタル	3
目地施工キット	1

##### ② 1 型門袖 独立仕様(ポスト付用/ポスト・インターホン付用)

名 称	梱包数
門袖本体独立仕様 ポスト付用	1
1 型門袖割石セット 共通部 A	1
1 型門袖割石セット 共通部 B	1
1 型門袖割石セット 共通部 C	1
1 型門袖・角門柱共通割石セット 独立仕様部	1
1 型門袖割石セット ポスト部	1
門袖笠木セット 標準用	1
目地モルタル	3
目地施工キット	1
JEXポスト・OA-12型 本体(ジェーブラック)	1

##### ③ 1 型門袖 独立仕様(ポスト・照明付用/ポスト・インターホン・照明付用)

名 称	梱包数
門袖本体独立仕様 ポスト付用	1
1 型門袖割石セット 共通部 A	1
1 型門袖割石セット 共通部 B	1
1 型門袖割石セット 共通部 C	1
1 型門袖・角門柱共通割石セット 独立仕様部	1
1 型門袖割石セット ポスト部	1
門袖笠木セット 照明用	1
目地モルタル	3
目地施工キット	1
JEXポスト・OA-12型 本体(ジェーブラック)	1

##### ④ 1 型門袖 H10・H12右吊(標準)

名 称	員 数	
	H10	H12
門袖本体両開き仕様 標準右	1	1
1 型門袖割石セット 共通部 A	1	1
1 型門袖割石セット 共通部 B	1	1
1 型門袖割石セット 共通部 C	1	1
1 型門袖・角門柱共通割石セット H10右吊	1	—
1 型門袖・角門柱共通割石セット H12左右吊	—	1
1 型門袖割石セット ポスト部	1	1
門袖笠木セット 標準用	1	1
目地モルタル	3	3
目地施工キット	1	1

##### ⑤ 1 型門袖 H10・H12左吊(標準)

名 称	員 数	
	H10	H12
門袖本体両開き仕様 標準左	1	1
1 型門袖割石セット 共通部 A	1	1
1 型門袖割石セット 共通部 B	1	1
1 型門袖割石セット 共通部 C	1	1
1 型門袖・角門柱共通割石セット H10左吊	1	—
1 型門袖・角門柱共通割石セット H12左右吊	—	1
1 型門袖割石セット ポスト部	1	1
門袖笠木セット 標準用	1	1
目地モルタル	3	3
目地施工キット	1	1

##### ⑥ 1 型門袖 H10・H12右吊(ポスト付用/ポスト・インターホン付用)

名 称	員 数	
	H10	H12
門袖本体両開き仕様 ポスト付用右	1	1
1 型門袖割石セット 共通部 A	1	1
1 型門袖割石セット 共通部 B	1	1
1 型門袖割石セット 共通部 C	1	1
1 型門袖・角門柱共通割石セット H10右吊	1	—
1 型門袖・角門柱共通割石セット H12左右吊	—	1
1 型門袖割石セット ポスト部	1	1
門袖笠木セット 標準用	1	1
目地モルタル	3	3
目地施工キット	1	1
JEXポスト・OA-12型 本体(ジェーブラック)	1	1

##### ⑦ 1 型門袖 H10・H12左吊(ポスト付用/ポスト・インターホン付用)

名 称	員 数	
	H10	H12
門袖本体両開き仕様 ポスト付用左	1	1
1 型門袖割石セット 共通部 A	1	1
1 型門袖割石セット 共通部 B	1	1
1 型門袖割石セット 共通部 C	1	1
1 型門袖・角門柱共通割石セット H10左吊	1	—
1 型門袖・角門柱共通割石セット H12左右吊	—	1
1 型門袖割石セット ポスト部	1	1
門袖笠木セット 標準用	1	1
目地モルタル	3	3
目地施工キット	1	1
JEXポスト・OA-12型 本体(ジェーブラック)	1	1

(注)

各セットの梱包内容については、梱包明細書で確認してください。

## ■ 梱包確認表……つづき

### 1 型門袖 つづき

⑧ 1 型門袖 H10・H12右吊(ポスト・照明付用/ポスト・インターホン・照明付用)

名 称	員 数	
	H10	H12
門袖本体両開き仕様 ポスト付用右	1	1
1 型門袖割石セット 共通部A	1	1
1 型門袖割石セット 共通部B	1	1
1 型門袖割石セット 共通部C	1	1
1 型門袖・角門柱共通割石セット H10右吊	1	—
1 型門袖・角門柱共通割石セット H12左右吊	—	1
1 型門袖割石セット ポスト部	1	1
門袖笠木セット 照明用	1	1
目地モルタル	3	3
目地施工キット	1	1
JEXポスト・OA-12型 本体(ジェーブラック)	1	1

⑨ 1 型門袖 H10・H12左吊(ポスト・照明付用/ポスト・インターホン・照明付用)

名 称	員 数	
	H10	H12
門袖本体両開き仕様 ポスト付用左	1	1
1 型門袖割石セット 共通部A	1	1
1 型門袖割石セット 共通部B	1	1
1 型門袖割石セット 共通部C	1	1
1 型門袖・角門柱共通割石セット H10左吊	1	—
1 型門袖・角門柱共通割石セット H12左右吊	—	1
1 型門袖割石セット ポスト部	1	1
門袖笠木セット 照明用	1	1
目地モルタル	3	3
目地施工キット	1	1
JEXポスト・OA-12型 本体(ジェーブラック)	1	1

### 1 型角門柱

⑩ 1 型角門柱 H10・H12右吊(標準)

名 称	員 数	
	H10	H12
角門柱本体両開き仕様 標準右	1	1
1 型角門柱割石セット 共通部A	1	1
1 型角門柱割石セット 共通部B	1	1
1 型門袖・角門柱共通割石セット H10右吊	1	—
1 型門袖・角門柱共通割石セット H12左右吊	—	1
角門柱笠木セット 標準用	1	1
目地モルタル	2	2
目地施工キット	1	1

⑪ 1 型角門柱 H10・H12左吊(標準)

名 称	員 数	
	H10	H12
角門柱本体両開き仕様 標準左	1	1
1 型角門柱割石セット 共通部A	1	1
1 型角門柱割石セット 共通部B	1	1
1 型門袖・角門柱共通割石セット H10左吊	1	—
1 型門袖・角門柱共通割石セット H12左右吊	—	1
角門柱笠木セット 標準用	1	1
目地モルタル	2	2
目地施工キット	1	1

⑫ 1 型角門柱 H10・H12右吊(照明付用/インターホン付用)

名 称	員 数	
	H10	H12
角門柱本体両開き仕様 照明・インターホン用右	1	1
1 型角門柱割石セット 共通部A	1	1
1 型角門柱割石セット 共通部B	1	1
1 型門袖・角門柱共通割石セット H10右吊	1	—
1 型門袖・角門柱共通割石セット H12左右吊	—	1
角門柱笠木セット 照明用	1	1
目地モルタル	2	2
目地施工キット	1	1

⑬ 1 型角門柱 H10・H12左吊(照明付用/インターホン付用)

名 称	員 数	
	H10	H12
角門柱本体両開き仕様 照明・インターホン用左	1	1
1 型角門柱割石セット 共通部A	1	1
1 型角門柱割石セット 共通部B	1	1
1 型門袖・角門柱共通割石セット H10左吊	1	—
1 型門袖・角門柱共通割石セット H12左右吊	—	1
角門柱笠木セット 照明用	1	1
目地モルタル	2	2
目地施工キット	1	1

⑭ 1 型角門柱 独立仕様(標準)

名 称	梱包数
角門柱本体独立仕様 標準	1
1 型角門柱割石セット 共通部A	1
1 型角門柱割石セット 共通部B	1
1 型門袖・角門柱共通割石セット 独立仕様部	1
角門柱笠木セット 標準用	1
目地モルタル	2
目地施工キット	1

⑮ 1 型角門柱 独立仕様(照明付用/インターホン付用)

名 称	梱包数
角門柱本体独立仕様 照明・インターホン用	1
1 型角門柱割石セット 共通部A	1
1 型角門柱割石セット 共通部B	1
1 型門袖・角門柱共通割石セット 独立仕様部	1
角門柱笠木セット 照明用	1
目地モルタル	2
目地施工キット	1

### 2 型門袖

⑯ 2 型門袖 独立仕様(標準)

名 称	梱包数
門袖本体独立仕様 標準	1
2 型門袖割石セット 共通部A	1
2 型門袖割石セット 共通部B	1
2 型門袖割石セット 共通部C	1
2 型門袖割石セット 共通部D	2
2 型門袖割石セット ポスト無部	1
門袖笠木セット 標準用	1
目地モルタル	3
目地施工キット	1

(注)各セットの梱包内容については、梱包明細書で確認してください。

## ■ 梱包確認表……つづき

### 2 型門袖 つづき

17 2 型門袖 独立仕様(ポスト付用/ポスト・インターホン付用)

名 称	梱包数	員 数	
		H10	H12
門袖本体独立仕様	ポスト付用	1	
2 型門袖割石セット	共通部 A	1	
2 型門袖割石セット	共通部 B	1	
2 型門袖割石セット	共通部 C	1	
2 型門袖割石セット	共通部 D	2	
2 型門袖割石セット	ポスト付部	1	
門袖笠木セット	標準用	1	
目地モルタル		3	
目地施工キット		1	
JEXポスト・OA-12型	本体(ジェーブラック)	1	

18 2 型門袖 独立仕様(ポスト・照明付用/ポスト・インターホン・照明付用)

名 称	梱包数	員 数	
		H10	H12
門袖本体独立仕様	ポスト付用	1	
2 型門袖割石セット	共通部 A	1	
2 型門袖割石セット	共通部 B	1	
2 型門袖割石セット	共通部 C	1	
2 型門袖割石セット	共通部 D	2	
2 型門袖割石セット	ポスト付部	1	
門袖笠木セット	照明用	1	
目地モルタル		3	
目地施工キット		1	
JEXポスト・OA-12型	本体(ジェーブラック)	1	

19 2 型門袖 H10・H12右吊(標準)

名 称		員 数	
		H10	H12
門袖本体両開き仕様	標準右	1	1
2 型門袖割石セット	共通部 A	1	1
2 型門袖割石セット	共通部 B	1	1
2 型門袖割石セット	共通部 C	1	1
2 型門袖割石セット	共通部 D	1	1
2 型門袖割石セット	H10右吊	1	—
2 型門袖割石セット	H12右吊	—	1
2 型門袖割石セット	ポスト無部	1	1
門袖笠木セット	標準用	1	1
目地モルタル		3	3
目地施工キット		1	1

20 2 型門袖 H10・H12左吊(標準)

名 称		員 数	
		H10	H12
門袖本体両開き仕様	標準左	1	1
2 型門袖割石セット	共通部 A	1	1
2 型門袖割石セット	共通部 B	1	1
2 型門袖割石セット	共通部 C	1	1
2 型門袖割石セット	共通部 D	1	1
2 型門袖割石セット	H10左吊	1	—
2 型門袖割石セット	H12左吊	—	1
2 型門袖割石セット	ポスト無部	1	1
門袖笠木セット	標準用	1	1
目地モルタル		3	3
目地施工キット		1	1

21 2 型門袖 H10・H12右吊(ポスト付用/ポスト・インターホン付用)

名 称		員 数	
		H10	H12
門袖本体両開き仕様	ポスト付用右	1	1
2 型門袖割石セット	共通部 A	1	1
2 型門袖割石セット	共通部 B	1	1
2 型門袖割石セット	共通部 C	1	1
2 型門袖割石セット	共通部 D	1	1
2 型門袖割石セット	H10右吊	1	—
2 型門袖割石セット	H12右吊	—	1
2 型門袖割石セット	ポスト付部	1	1
門袖笠木セット	標準用	1	1
目地モルタル		3	3
目地施工キット		1	1
JEXポスト・OA-12型	本体(ジェーブラック)	1	1

22 2 型門袖 H10・H12左吊(ポスト付用/ポスト・インターホン付用)

名 称		員 数	
		H10	H12
門袖本体両開き仕様	ポスト付用左	1	1
2 型門袖割石セット	共通部 A	1	1
2 型門袖割石セット	共通部 B	1	1
2 型門袖割石セット	共通部 C	1	1
2 型門袖割石セット	共通部 D	1	1
2 型門袖割石セット	H10左吊	1	—
2 型門袖割石セット	H12左吊	—	1
2 型門袖割石セット	ポスト付部	1	1
門袖笠木セット	標準用	1	1
目地モルタル		3	3
目地施工キット		1	1
JEXポスト・OA-12型	本体(ジェーブラック)	1	1

23 2 型門袖 H10・H12右吊(ポスト・照明付用/ポスト・インターホン・照明付用)

名 称		員 数	
		H10	H12
門袖本体両開き仕様	ポスト付用右	1	1
2 型門袖割石セット	共通部 A	1	1
2 型門袖割石セット	共通部 B	1	1
2 型門袖割石セット	共通部 C	1	1
2 型門袖割石セット	共通部 D	1	1
2 型門袖割石セット	H10右吊	1	—
2 型門袖割石セット	H12右吊	—	1
2 型門袖割石セット	ポスト付部	1	1
門袖笠木セット	照明用	1	1
目地モルタル		3	3
目地施工キット		1	1
JEXポスト・OA-12型	本体(ジェーブラック)	1	1

(注)

各セットの梱包内容については、梱包明細書で確認してください。

## ■ 梱包確認表……つづき

### 2 型門袖 つづき

24 2 型門袖 H10・H12左吊(ポスト・照明付用/ポスト・インターホン・照明付用)

名 称	員 数		
	H10	H12	
門袖本体両開き仕様	ポスト付用左	1	1
2 型門袖割石セット	共通部A	1	1
2 型門袖割石セット	共通部B	1	1
2 型門袖割石セット	共通部C	1	1
2 型門袖割石セット	共通部D	1	1
2 型門袖割石セット	H10左吊	1	—
2 型門袖割石セット	H12左吊	—	1
2 型門袖割石セット	ポスト付部	1	1
門袖笠木セット	照明用	1	1
目地モルタル		3	3
目地施工キット		1	1
JEXポスト・OA-12型	本体(ジェーブラック)	1	1

### 2 型角門柱

25 2 型角門柱 H10・H12右吊(標準)

名 称	員 数		
	H10	H12	
角門柱本体両開き仕様	標準右	1	1
2 型角門柱割石セット	共通部A	1	1
2 型角門柱割石セット	共通部B	1	1
2 型角門柱割石セット	共通部C	1	1
2 型角門柱割石セット	H10右吊	1	—
2 型角門柱割石セット	H12右吊	—	1
角門柱笠木セット	標準用	1	1
目地モルタル		2	2
目地施工キット		1	1

26 2 型角門柱 H10・H12左吊(標準)

名 称	員 数		
	H10	H12	
角門柱本体両開き仕様	標準左	1	1
2 型角門柱割石セット	共通部A	1	1
2 型角門柱割石セット	共通部B	1	1
2 型角門柱割石セット	共通部C	1	1
2 型角門柱割石セット	H10左吊	1	—
2 型角門柱割石セット	H12左吊	—	1
角門柱笠木セット	標準用	1	1
目地モルタル		2	2
目地施工キット		1	1

27 2 型角門柱 H10・H12右吊(照明付用/インターホン付用)

名 称	員 数		
	H10	H12	
角門柱本体両開き仕様	照明・インターホン用右	1	1
2 型角門柱割石セット	共通部A	1	1
2 型角門柱割石セット	共通部B	1	1
2 型角門柱割石セット	共通部C	1	1
2 型角門柱割石セット	H10右吊	1	—
2 型角門柱割石セット	H12右吊	—	1
角門柱笠木セット	照明用	1	1
目地モルタル		2	2
目地施工キット		1	1

28 2 型角門柱 H10・H12左吊(照明付用/インターホン付用)

名 称	員 数		
	H10	H12	
角門柱本体両開き仕様	照明・インターホン用左	1	1
2 型角門柱割石セット	共通部A	1	1
2 型角門柱割石セット	共通部B	1	1
2 型角門柱割石セット	共通部C	1	1
2 型角門柱割石セット	H10左吊	1	—
2 型角門柱割石セット	H12左吊	—	1
角門柱笠木セット	照明用	1	1
目地モルタル		2	2
目地施工キット		1	1

29 2 型角門柱 独立仕様(標準)

名 称	梱包数	
角門柱本体独立仕様	標準	1
2 型角門柱割石セット	共通部A	1
2 型角門柱割石セット	共通部B	1
2 型角門柱割石セット	共通部C	2
角門柱笠木セット	標準用	1
目地モルタル		2
目地施工キット		1

30 2 型角門柱 独立仕様(照明付用/インターホン付用)

名 称	梱包数	
角門柱本体独立仕様	照明・インターホン用	1
2 型角門柱割石セット	共通部A	1
2 型角門柱割石セット	共通部B	1
2 型角門柱割石セット	共通部C	2
角門柱笠木セット	照明用	1
目地モルタル		2
目地施工キット		1

(注)各セットの梱包内容については、梱包明細書で確認してください。

## ■ 梱包明細書

●ポスト、その他のオプション類については、各梱包に入っている取付説明書で確認してください。

①笠木セット(門袖・角門柱)

名 称	員 数			
	門袖笠木セット 標準用	角門柱笠木セット 照明用	門袖笠木セット 標準用	角門柱笠木セット 照明用
門袖標準笠木	3	2	—	—
門袖照明部笠木	—	1	—	—
角門柱標準笠木	—	—	1	—
角門柱照明部笠木	—	—	—	1

②目地モルタル

名 称	員 数	
	門袖	角門柱
目地モルタル	1	1

③目地施工キット

名 称	員 数	
	門袖	角門柱
目地バッグ	1	1
口金	1	1
ヘラ	1	1
ブラシ	1	1



## ■梱包明細表……つづき

5-13  
2型門袖割石セット 共通部A

名称 (割石NO.)	員数
T 1	2
T 3	2
T 4	2
T 5	2
T 6	2
T 7	2
T 30	2
T 31	2
T 2-3	1
T 8-3	1
割石補修剤	1

5-17  
2型門袖割石セット H10右吊

名称 (割石NO.)	員数
T 8-1	1
T 19-1	1
T 32-1	1
T 2	1
T 16	1
T 23	1
T 26	1
T 36	1
T 37	1
T 38	1
T 39	1

5-21  
2型角門柱割石セット 共通部A

名称 (割石NO.)	員数
T 41	2
T 42	2
T 43	2
T 46	2
T 47	2
T 48	2
T 58	2
T 61	2
割石補修剤	1

5-25  
2型角門柱割石セット H10左吊

名称 (割石NO.)	員数
T 44-1	1
T 52-1	1
T 60-1	1
T 45	1
T 51	1
T 54	1
T 55	1
T 59	1
T 64	1
T 65	1
T 66	1

5-14  
2型門袖割石セット 共通部B

名称 (割石NO.)	員数
T 9	2
T 10	2
T 11	2
T 12	2
T 13	2
T 14	2
T 15	2
T 33	2
T 34	2
T 35	2

5-18  
2型門袖割石セット H10左吊

名称 (割石NO.)	員数
T 2-1	1
T 16-1	1
T 37-1	1
T 8	1
T 19	1
T 23	1
T 26	1
T 32	1
T 36	1
T 38	1
T 39	1

5-22  
2型角門柱割石セット 共通部B

名称 (割石NO.)	員数
T 49	2
T 50	2
T 53	2
T 56	2
T 57	2
T 62	2
T 63	2
T 67	2
T 44-3	1
T 45-3	1

5-26  
2型角門柱割石セット H12右吊

名称 (割石NO.)	員数
T 45-1	1
T 54-1	1
T 44	1
T 51	1
T 52	1
T 55	1
T 59	1
T 60	1
T 64	1
T 65	1
T 66	1

5-15  
2型門袖割石セット 共通部C

名称 (割石NO.)	員数
T 24	2
T 25	2
T 27	2
T 28	2
T 40	2
T 26-4	1
T 23-4	1

5-19  
2型門袖割石セット H12右吊

名称 (割石NO.)	員数
T 8-1	1
T 26-1	1
T 32-1	1
T 38-1	1
T 2	1
T 16	1
T 19	1
T 23	1
T 36	1
T 37	1
T 39	1

5-23  
2型角門柱割石セット 共通部C

名称 (割石NO.)	員数
T 44	1
T 45	1
T 51	1
T 52	1
T 54	1
T 55	1
T 59	1
T 60	1
T 64	1
T 65	1
T 66	1

5-27  
2型角門柱割石セット H12左吊

名称 (割石NO.)	員数
T 44-1	1
T 55-1	1
T 60-1	1
T 66-1	1
T 45	1
T 51	1
T 52	1
T 54	1
T 59	1
T 64	1
T 65	1

5-16  
2型門袖割石セット 共通部D

名称 (割石NO.)	員数
T 2	1
T 8	1
T 16	1
T 19	1
T 23	1
T 26	1
T 32	1
T 36	1
T 37	1
T 38	1

5-20  
2型門袖割石セット H12左吊

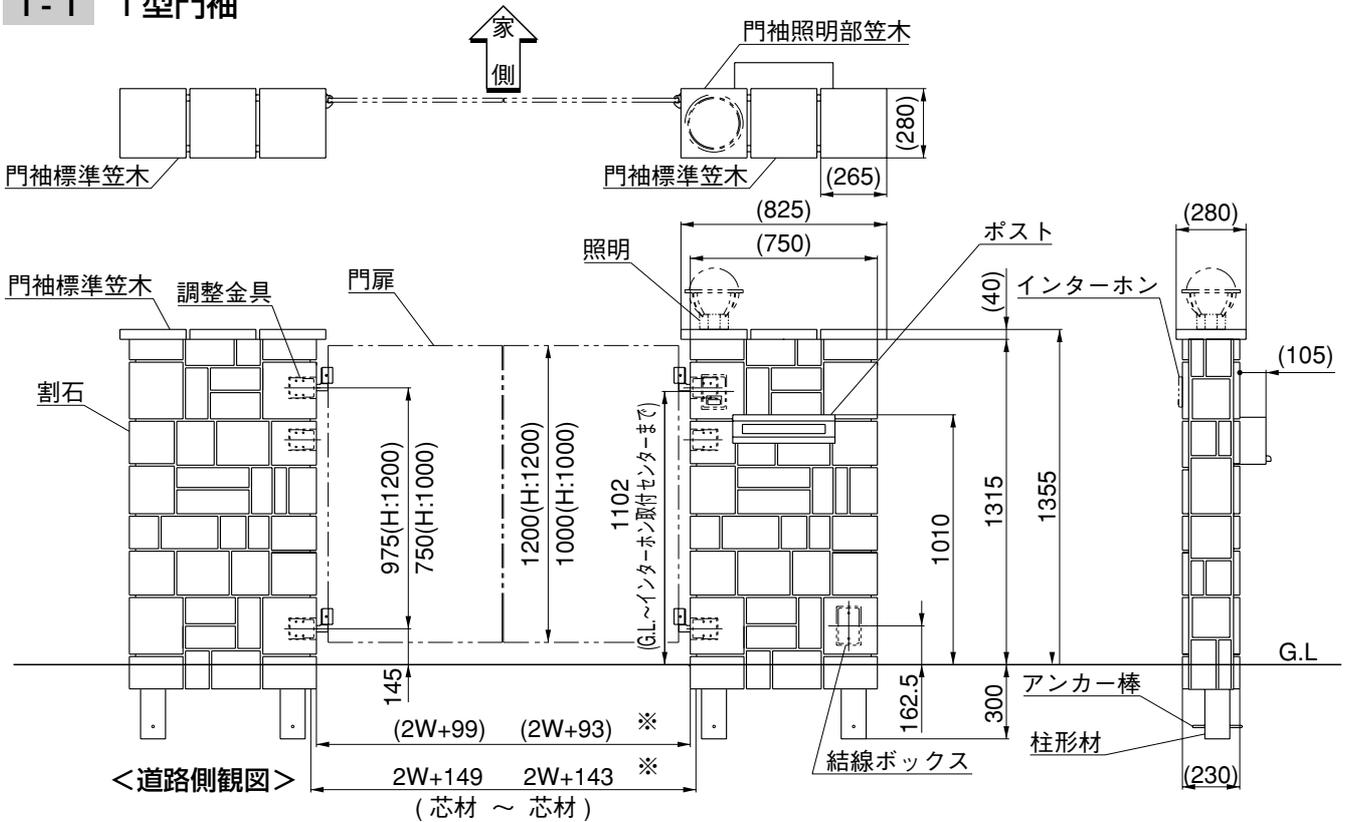
名称 (割石NO.)	員数
T 2-1	1
T 23-1	1
T 8	1
T 16	1
T 19	1
T 26	1
T 32	1
T 36	1
T 37	1
T 38	1
T 39	1

5-24  
2型角門柱割石セット H10右吊

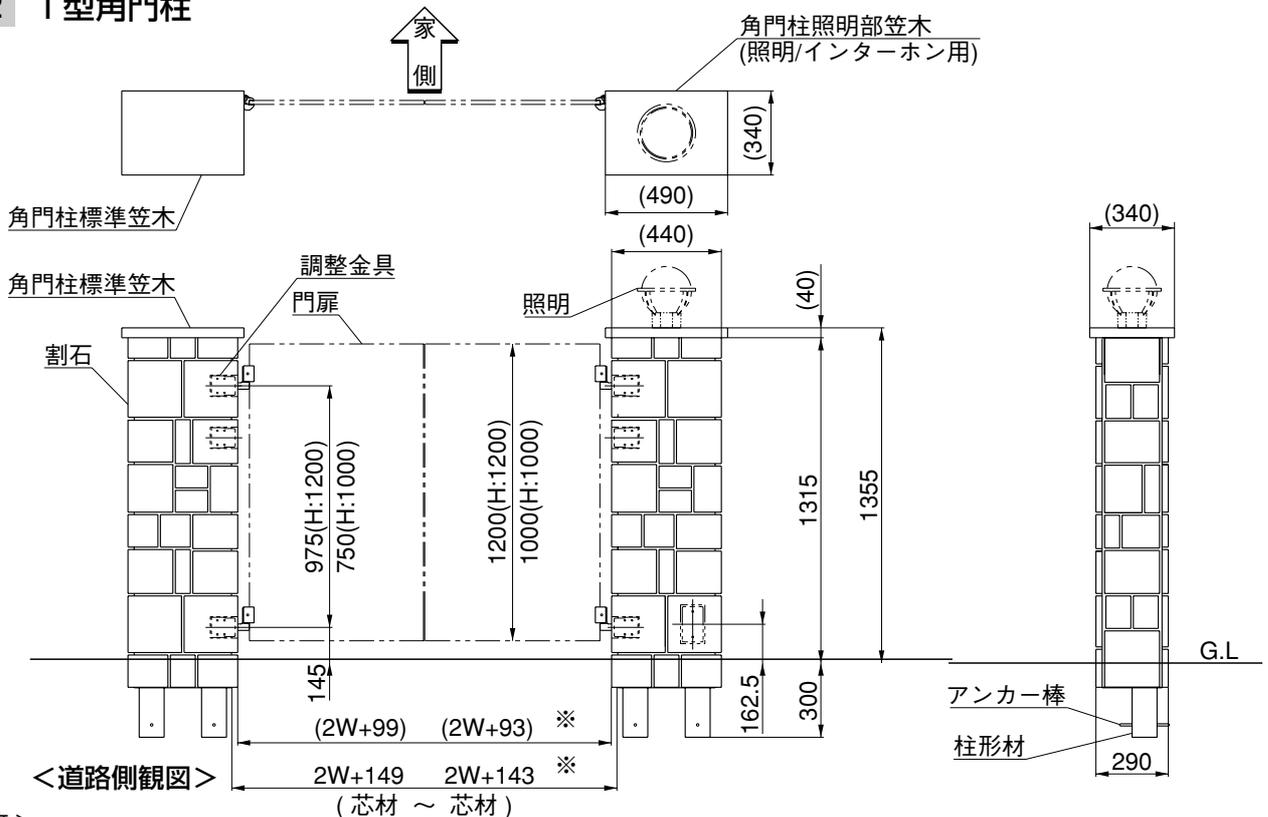
名称 (割石NO.)	員数
T 45-1	1
T 51-1	1
T 64-1	1
T 44	1
T 52	1
T 54	1
T 55	1
T 59	1
T 60	1
T 65	1
T 66	1

# 1.基本寸法および各部名称

## 1-1 1型門袖



## 1-2 1型角門柱

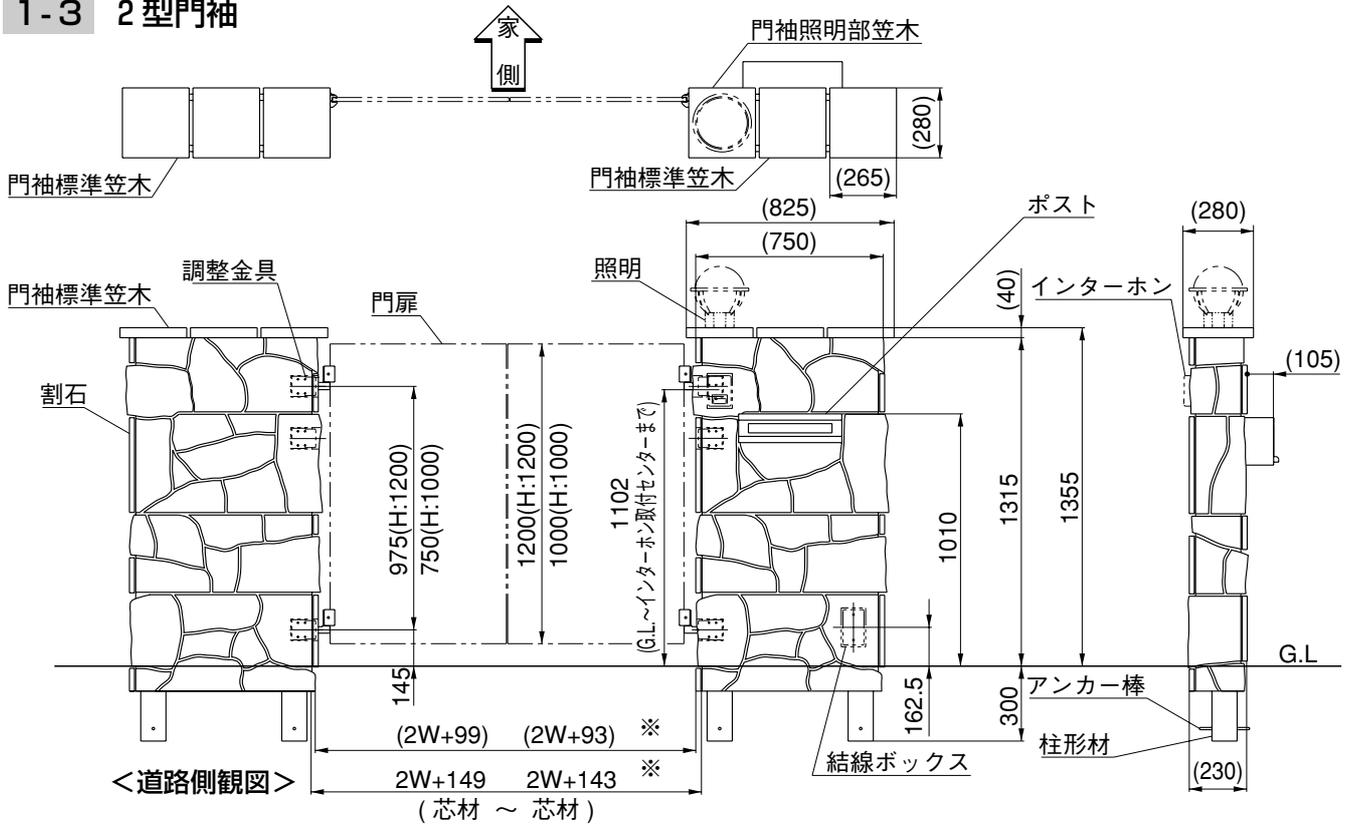


### <注意>

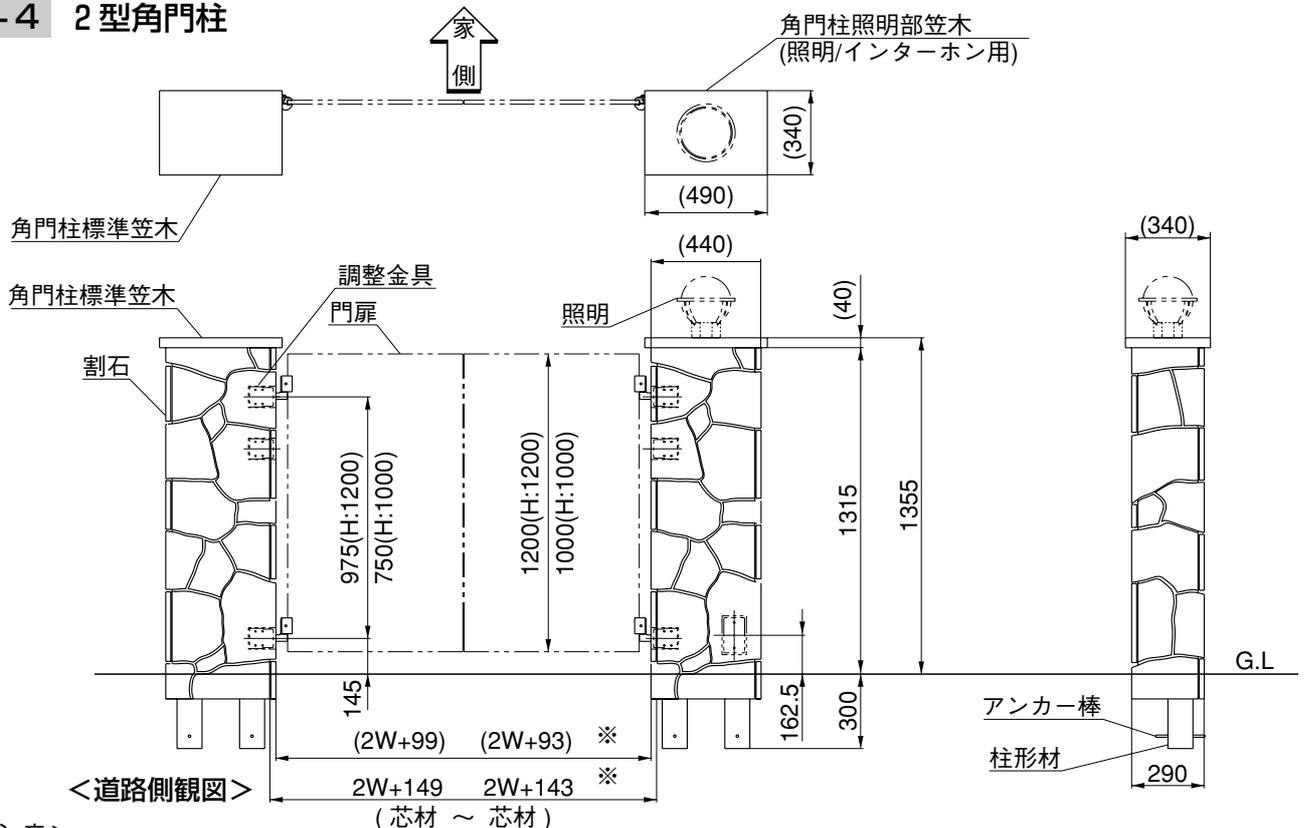
- ※部寸法は、ハイ千峰を吊った時の寸法です。( )内寸法は、割石の厚みにより異なります。
- 一方を門袖、もう一方を角門柱で施工する場合も間口寸法は同じです。
- 片側にサブ門柱Bを使用する場合には、別途「サブ門柱B」(A163)の取付説明書を合わせてお読み下さい。

# 1.のつづき

## 1-3 2型門袖



## 1-4 2型角門柱

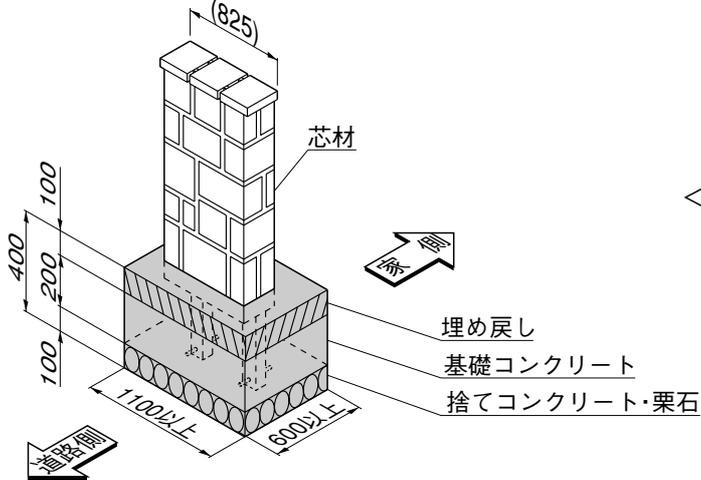


### <注意>

- ※部寸法は、ハイ千峰を吊った時の寸法です。( )内寸法は、割石の厚みにより異なります。
- 一方を門袖、もう一方を角門柱で施工する場合も間口寸法は同じです。
- 片側にサブ門柱Bを使用する場合には、別途「サブ門柱B」(A163)の取付説明書を合わせてお読み下さい。

## 2.基礎の施工

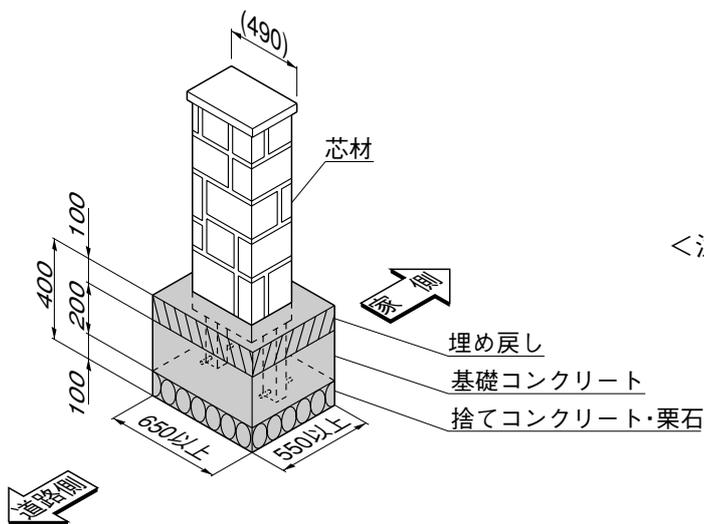
### 2-1 門袖(1型・2型共通)



<注意>

- 割石を張った後にコンクリートで埋め戻しを行なって下さい。

### 2-2 角門柱(1型・2型共通)

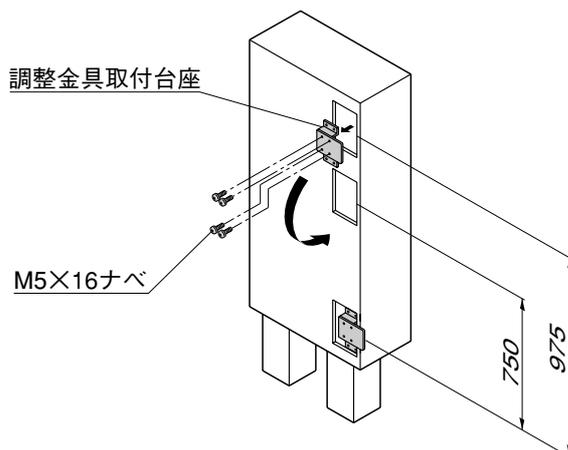


<注意>

- 割石を張った後にコンクリートで埋め戻しを行なって下さい。

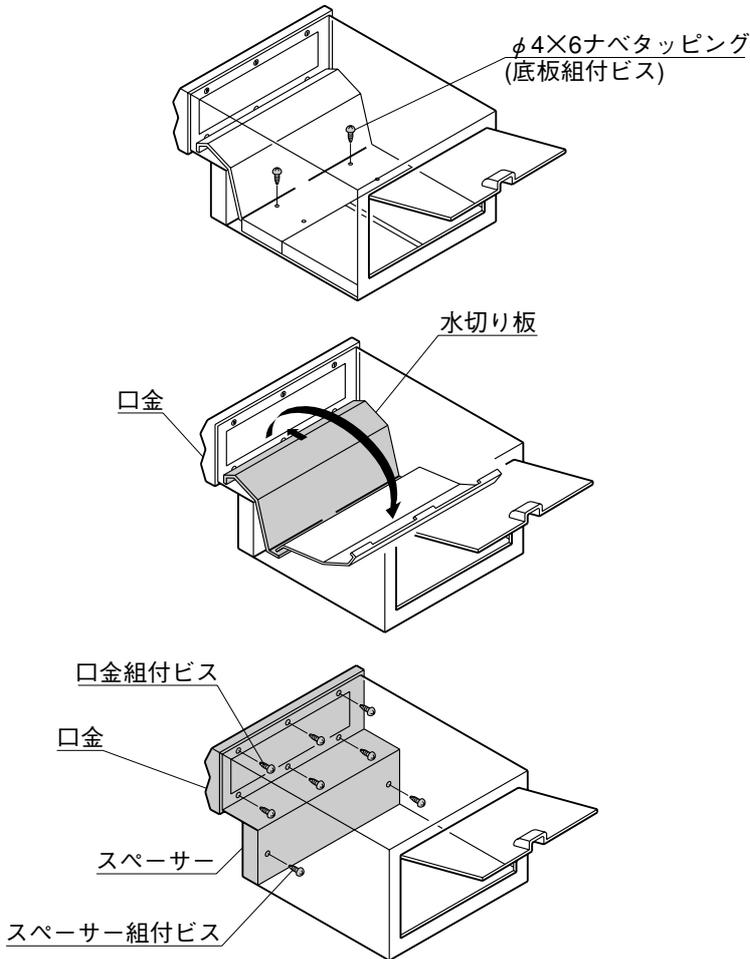
## 3.調整金具取付台座ピッチの変更

H1200用門扉仕様からH1000用門扉仕様への変更



- ① 出荷時には、台座ピッチをH1200用(975mm)でセットしています。
- ② H1000用(750mm)の場合には、上側の台座をはずし、台座ピッチ750mmのところに付け替えて下さい。

## 4.ポストの取付け



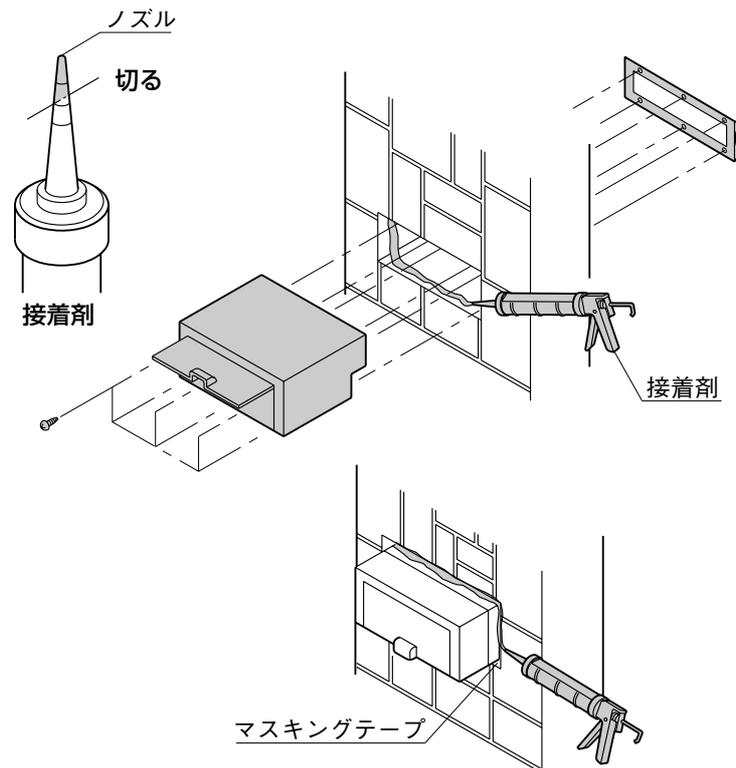
① 底板付ビス(φ4×6ナベタッピング)をはずして下さい。

② 水切り板を口金方向へスライドさせながら反転させてはずして下さい。

③ 口金組付ビス(6ヶ所)とスペーサー組付ビス(2ヶ所)をはずして口金、スペーサーをはずして下さい。

<注意>

● 口金をとめてあるビスはポスト取付時使用しますのでなくさないで下さい。



④ 本体のポスト差込み穴に付属の接着剤を塗布しポストを後側から差込んで下さい。

<注意>

● 接着剤が表面にはみださないようにして下さい。

⑤ ポストの口金を取付けて下さい。この時、口金のスプリングをポスト本体の折返し部分に差し込んでから取付けて下さい。

⑥ 水切り板を取付けて下さい。

⑦ 底板を組付ビスで取付けて下さい。

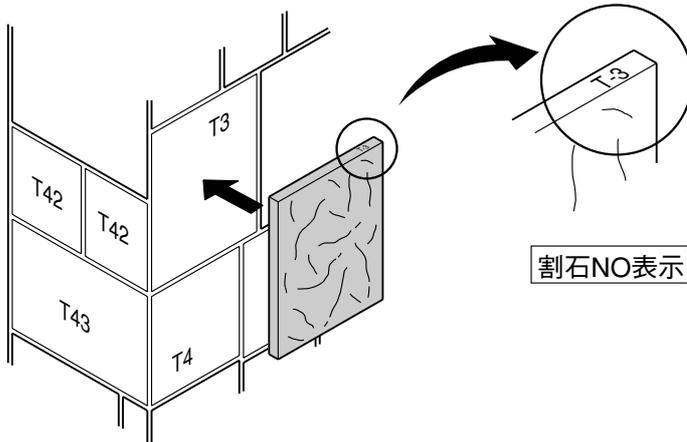
⑧ ポスト取付終了後コーキング処理を施して下さい。

## 5.石張り

※割石の裏面にバリが発生している場合は、セメントならしごて等で削って下さい。

特にコーナー部に貼る割石のバリはていねいに削りとって下さい。

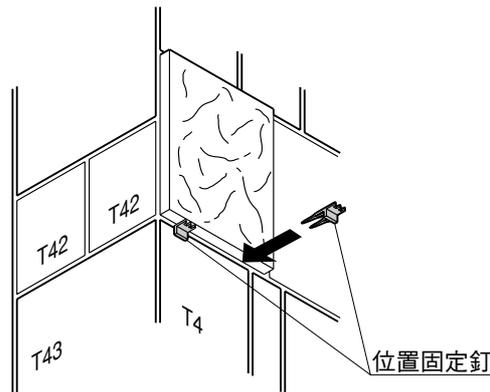
※表札を埋め込む場合には、あらかじめその部分の割石を表札の大きさに合わせて、グラインダー等でカットしておいて下さい。



- ① 割石側面のNO.と、芯材に印刷してあるNO.を合わせ割石を芯材の所定の位置に仮置きして位置と向きを確認して下さい。

<注意>

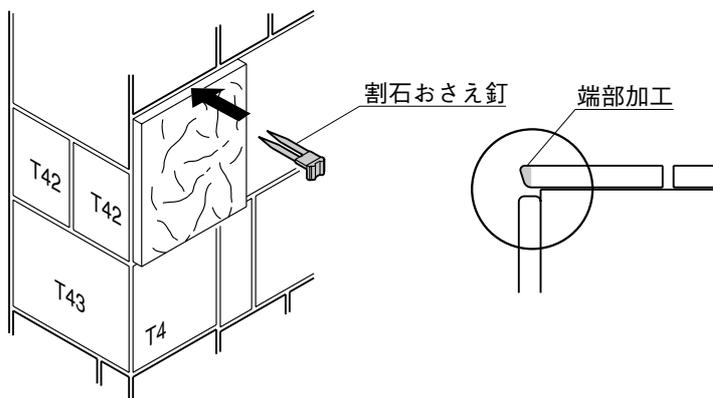
- 各石割りは、12～23ページを参照して下さい。
- ポスト付用でインターホン子機を取付けない場合には、インターホン取付部品を取りはずし、インターホン取付部と結線ボックス部のCD管を切断するか、芯材内に押し込んで下さい。
- ポスト付用で照明を使用しない場合には、結線ボックス部のCD管を切断するか、芯材内に押し込んで下さい。



- ② 芯材に印刷してある枠内に割石を合わせたら、「位置固定釘」1本または2本を割石の下に差込んで割石の位置を決定して下さい。

<注意>

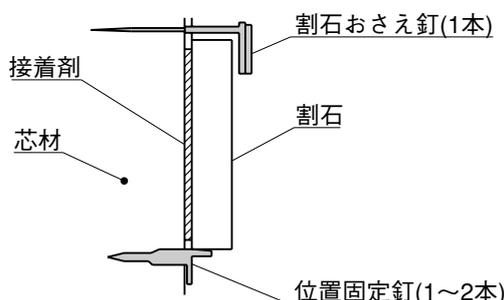
- 表札を取付ける場合にも②以降の方法をとって下さい。



- ③ 割石の裏面に接着剤を塗り、割石を「位置固定釘」に乗せるようにして芯材を貼り付けて下さい。

<注意>

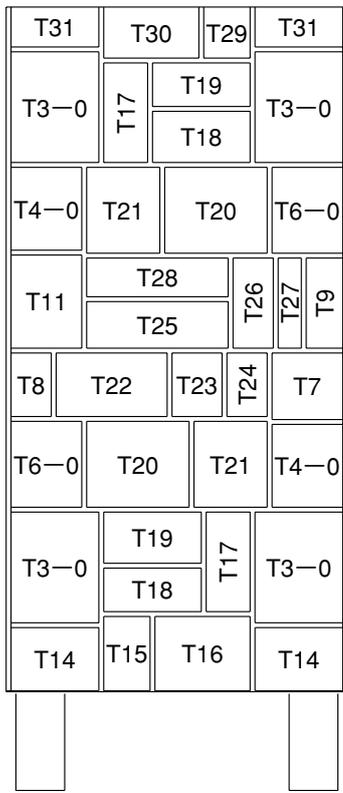
- コーナー部に貼る割石は、裏面まで端部加工してある側をコーナー部に向けて下さい。
- 表札用接着剤はセメダイン「PM300」、「PM 165」(瞬間型弾性マスチック接着剤)等をご使用下さい。付属の接着剤を使用しますと、表札表面にしみとしてうきあがってくる場合がありますので使用しないで下さい。
- 表札および接着剤は別売りです。



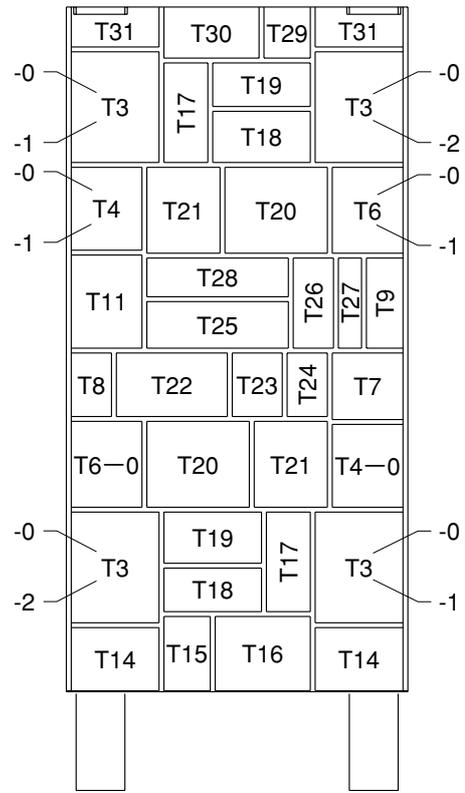
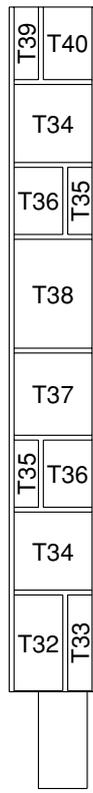
- ④ 割石を貼り付けたら、割石の上部に「割石おさえ釘」1本を差し込んで、割石をしっかり押さえて下さい。

# 6. 1 型門袖石割り

## 標準



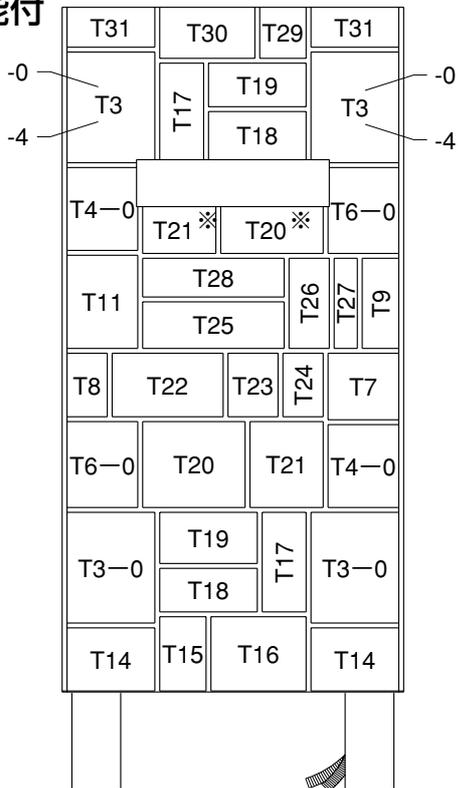
正面図



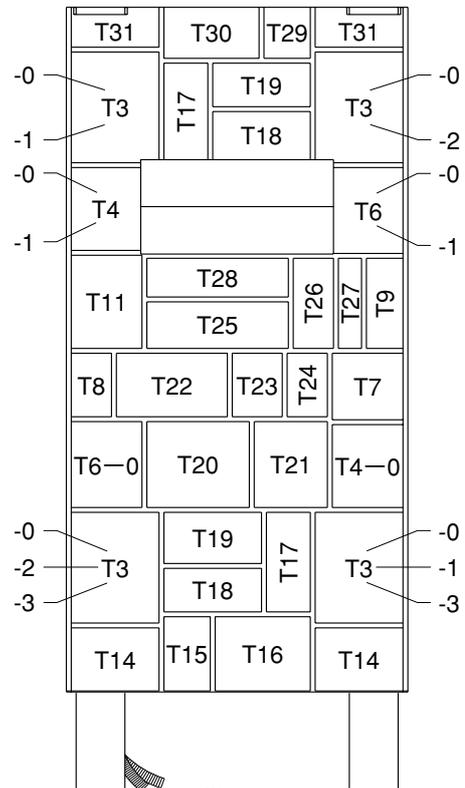
背面図



## 機能付



正面図



背面図

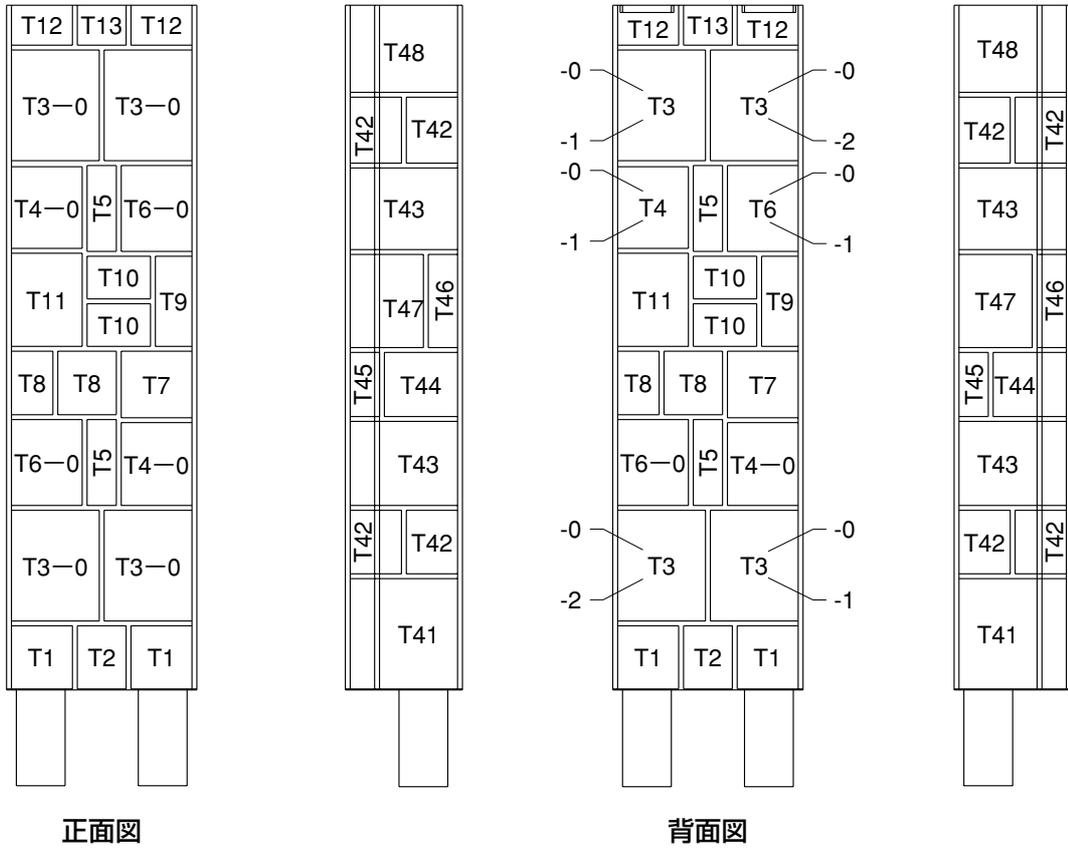


<注意>

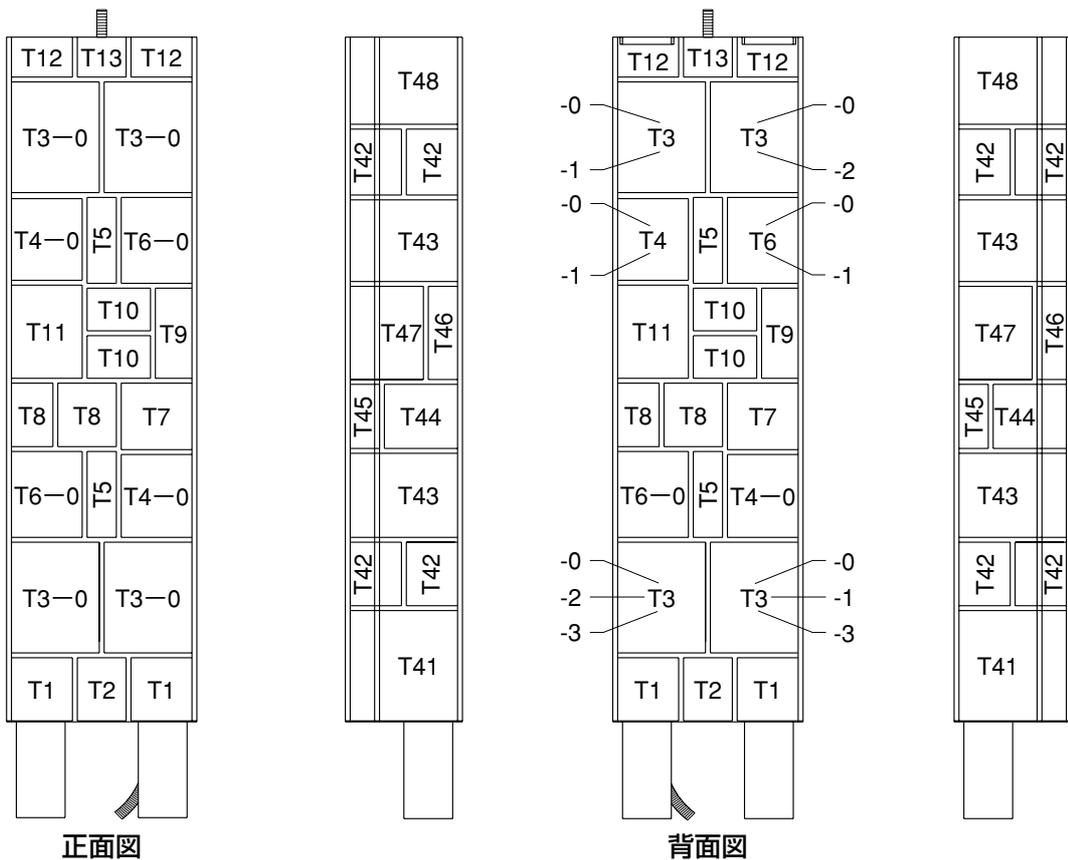
- ※部は切断が必要です。くわしくは、「11.割石の切断」を参照して下さい。

# 7. 1 型角門柱石割り

標準

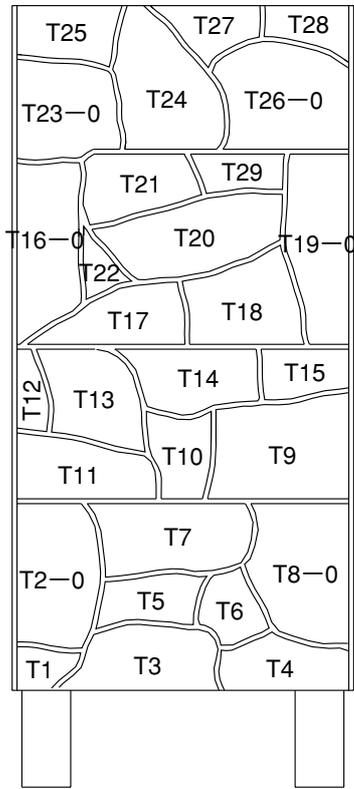


機能付

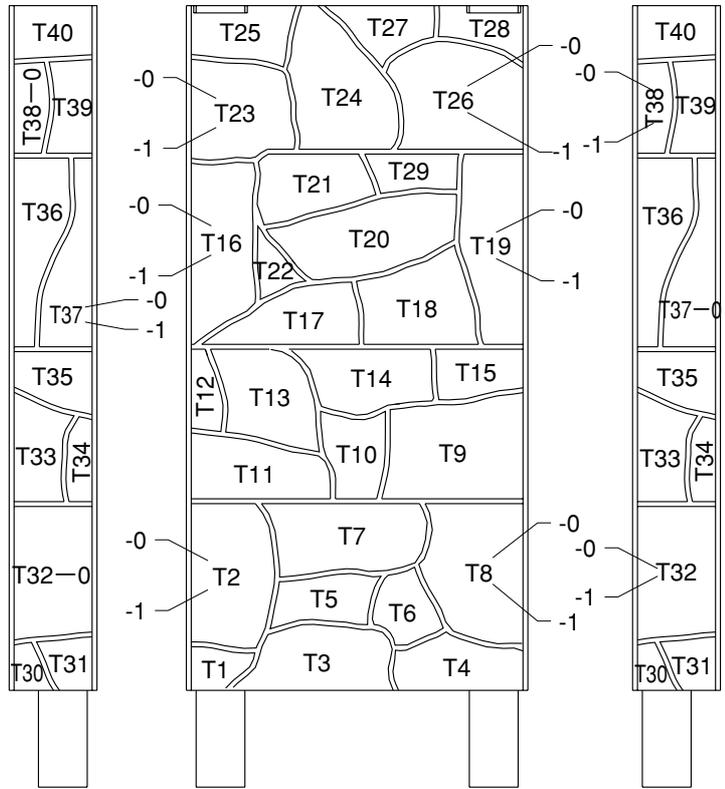


# 8. 2 型門袖石割り

標準

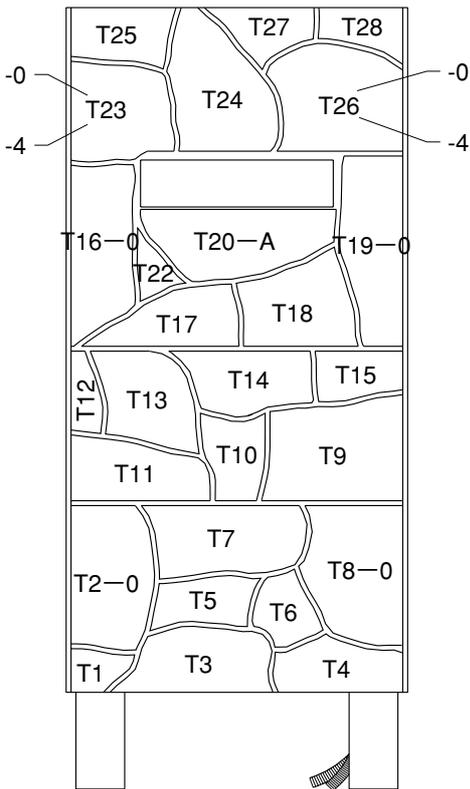


正面図

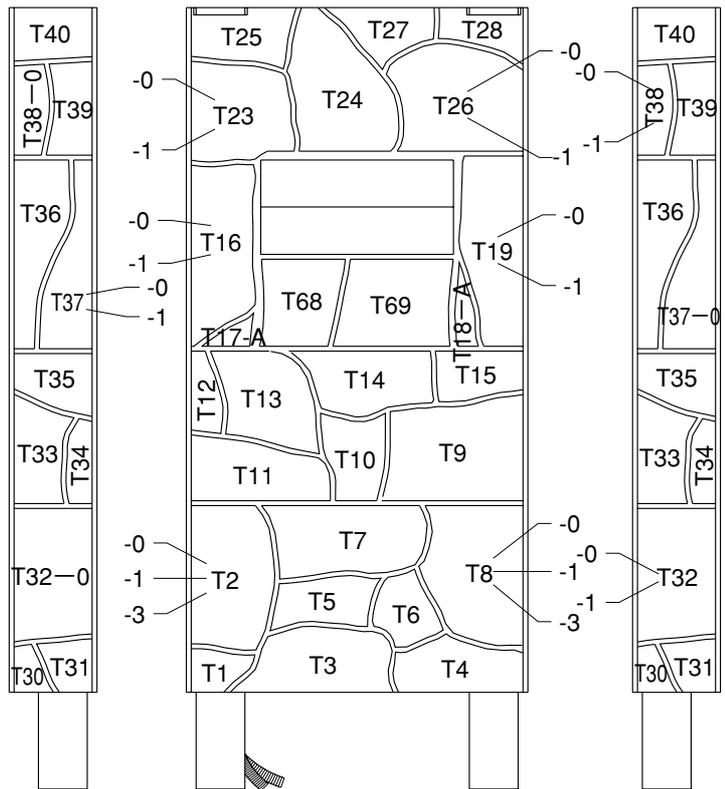


背面図

機能付



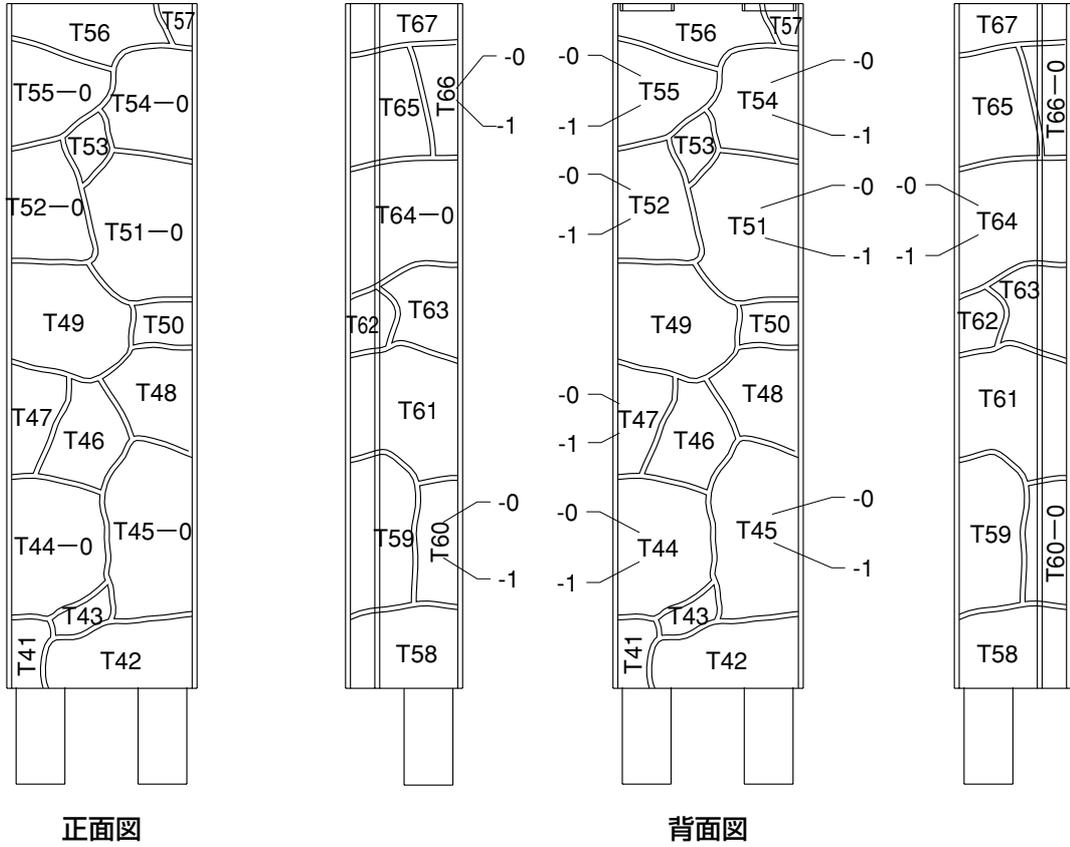
正面図



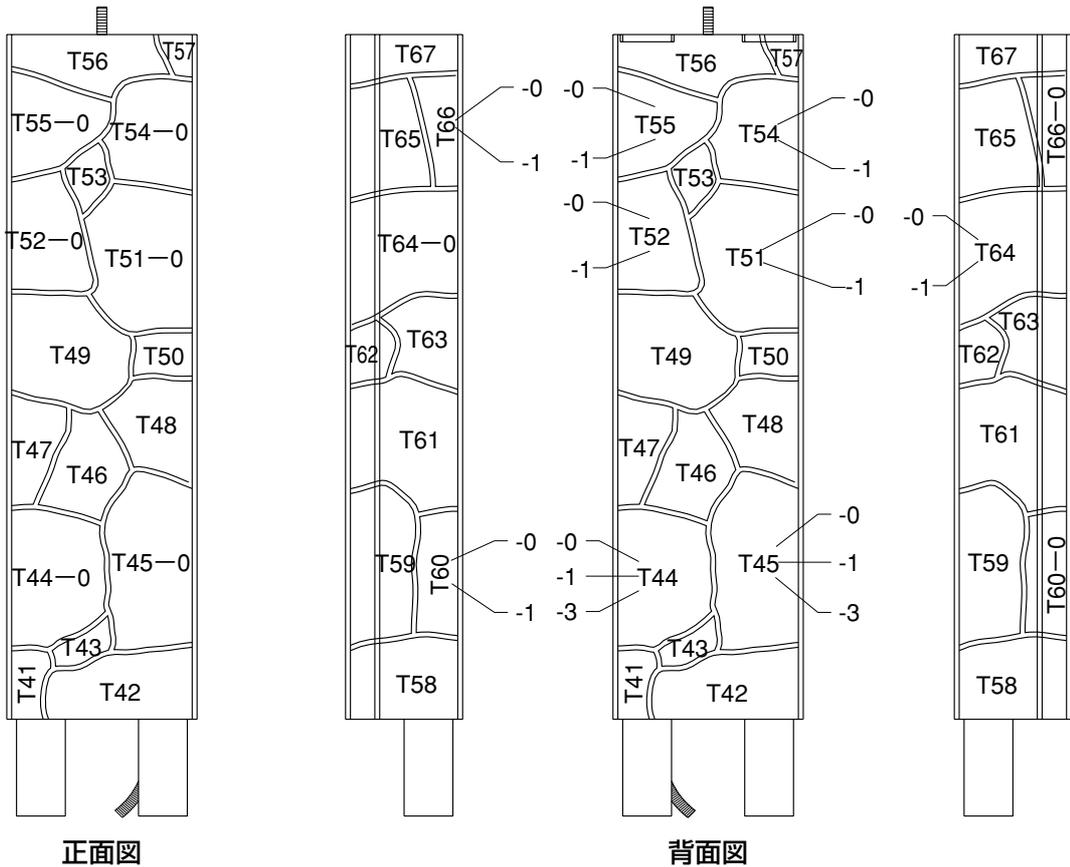
背面図

## 9. 2 型角門柱石割り

標準



機能付

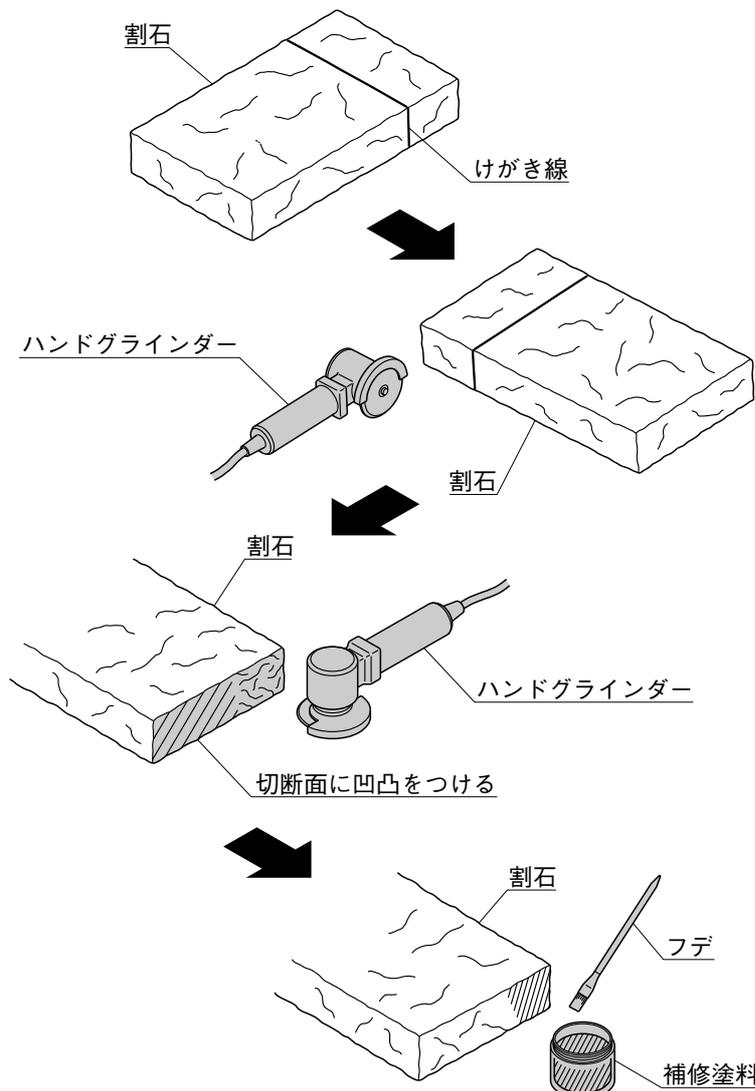


## 10.割石の枝番について

枝番	加工の内容
□-0	加工(穴)のない割石
□-1	調整金具用加工が入った割石(1型・2型)
□-2	調整金具用加工が入った割石(1型)
□-3	結線ボックス用加工が入った割石(1型・2型)
□-4	インターホン子機用加工が入った割石(1型・2型)

- ① 割石には、枝番（割石番号の後ろにつく番号）があり、同じ外形の石であっても石に加工の有無等によって5種類の割石があるものがあります。上図に枝番に対する加工の種類について表にまとめました。石割り図と照らしあわせ、発泡芯材に割石を貼りつけて下さい。

## 11.割石の切断



### <注意>

- 割石は一部切断が必要な所があります。1型・ポスト付仕様の門袖および市販されている表札を取付ける場合、割石を切断しなければなりません。

- ① 割石に切断する線をけがいて下さい。

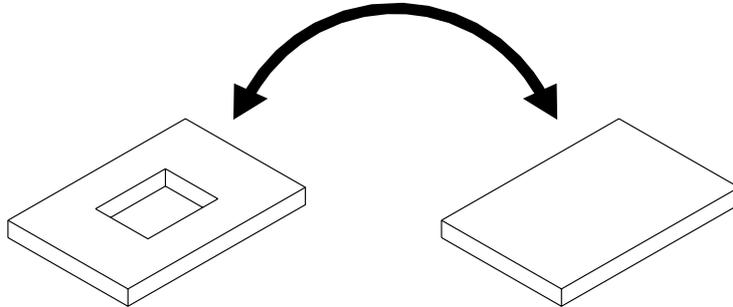
- ② けがき線にそって、ハンドグラインダー等で切断して下さい。

- ③ 切断面にハンドグラインダー等で多少凹凸をつけて下さい。

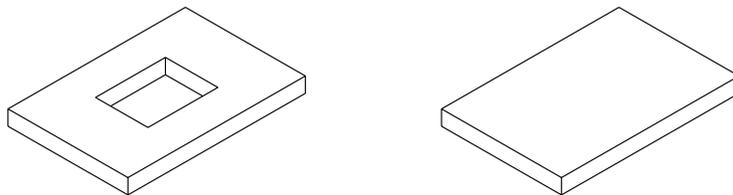
- ④ 割石セット内に同梱されている補修塗料で切断面を仕上げてください。

## 12. 不要な割石について

どちらか一方を選択し、他方は廃棄



インターホン用割石

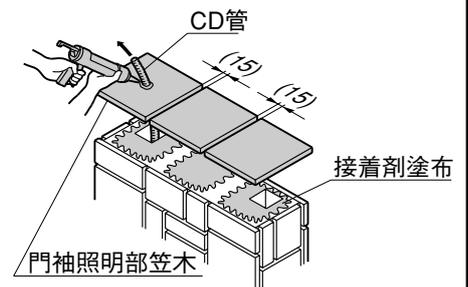
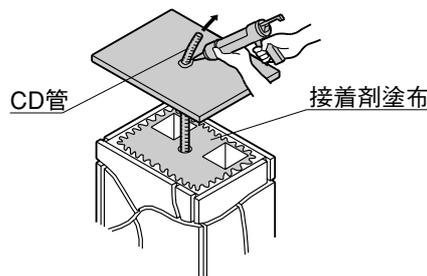
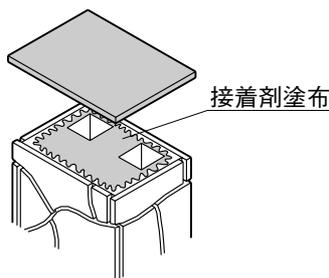


結線ボックス用割石

- ① クリフストーン門袖の場合、インターホン子機、結線ボックスの有無、角門柱の場合、結線ボックスの有無がそれぞれ現場にて対応できるように割石に穴加工が入っているものといないものの両方が梱包内にはっています。したがって使用しない割石(0~4コ)ができますので現場にて廃棄して下さい。

## 13. 笠木張り

笠木は芯材天面に接着剤を塗布して張って下さい。



### 10-1 角門柱標準タイプ

- ① そのまま張って下さい。

### 10-2 角門柱照明付・インターホン付タイプ

- ① CD管を抜き出し穴に通してから張って下さい。さらに抜き出し穴とCD管との隙間を接着剤でコーキングして下さい。

<注意>

- 笠木には照明とインターホンを同時に取付けることはできません。

### 10-3 門袖照明付タイプ

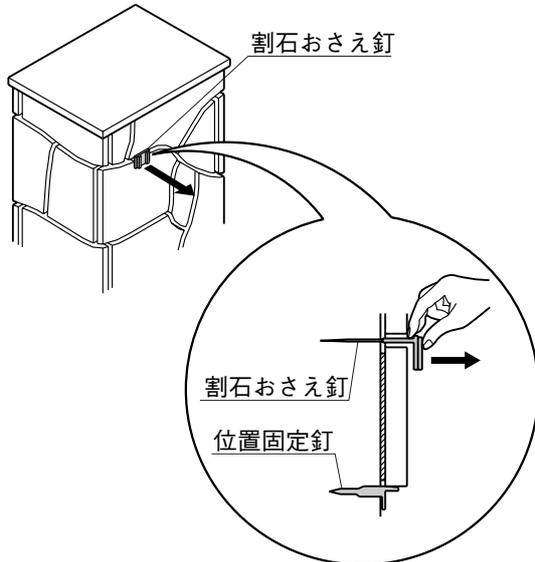
- ① CD管を抜き出し穴に通してから張って下さい。さらに抜き出し穴とCD管との隙間を接着剤でコーキングして下さい。

<注意>

- 門袖の場合には、笠木と笠木との間を15mm程度あけて下さい。
- CD管抜き出し用の笠木(門袖照明部笠木)は、通路側門袖と門袖または、門袖と角門柱の間)にセットして下さい。

## 14.目地埋め

目地埋めは割石がぐらつかなくなるまで養生してから行なって下さい。



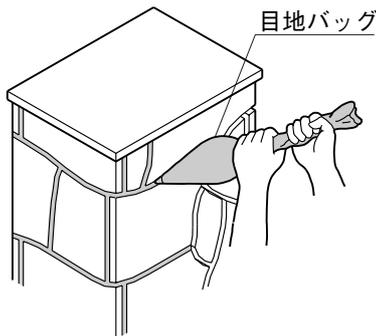
<注意>

● 割石下部の「位置固定釘」は差し込んだままで目地埋めを行います。

① 割石上部の「割石おさえ釘」を抜いて下さい。

<注意>

● 「割石おさえ釘」上部の凸部に爪を引っ掛けるようにすると抜けやすくなります。



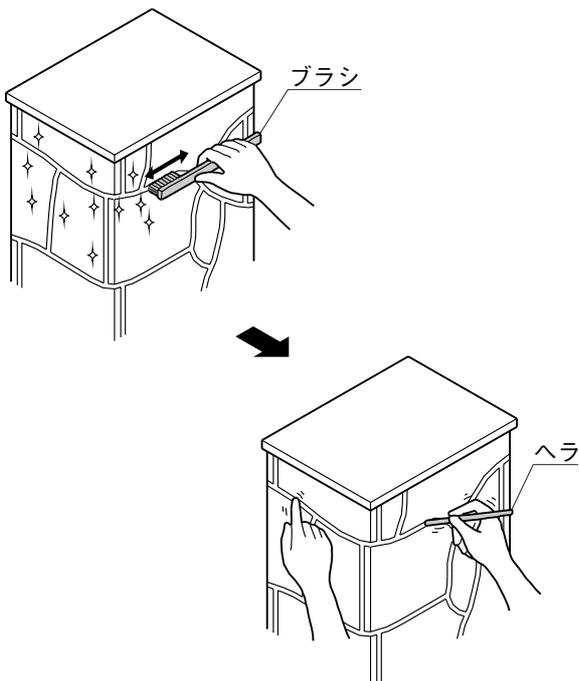
② 目地モルタル：水＝1kg：0.2ℓをめぐに調合して下さい。

③ 目地バッグに口金を入れ、モルタルをつめて下さい。

④ 目地をモルタルで埋めて下さい。このとき、各割石の下部に差し込んでいる「位置固定釘」がかくれるように埋めて下さい。

<注意>

● 門袖仕様の場合には、笠木と笠木の間15mmにも目地埋めして下さい。

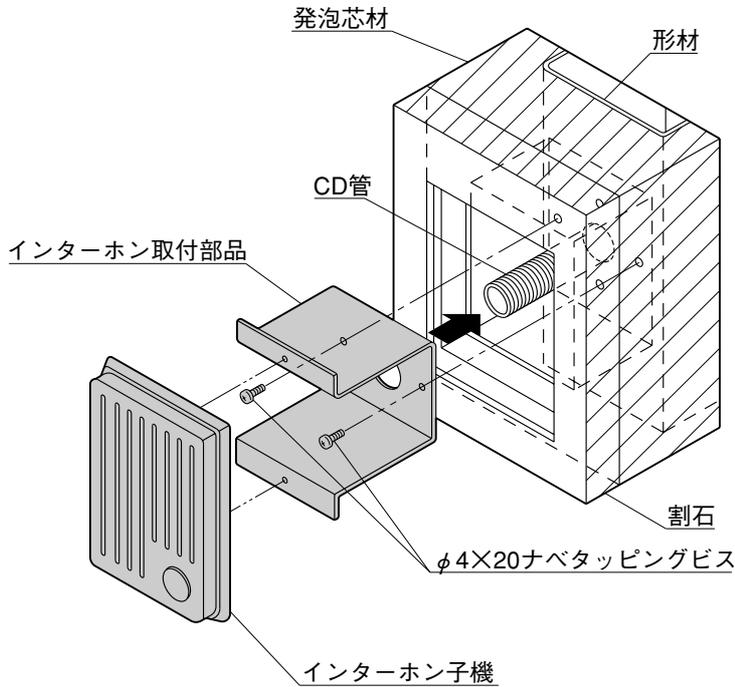


⑤ モルタルが指につかなくなるまで養生して下さい。

⑥ 付属のヘラまたは指で目地を押しつけながら隙間がないように平らにして下さい。

⑦ 付属のブラシで目地にそうようにブラシをかけて、目地を仕上げして下さい。

## 15. インターホン子機を取付け

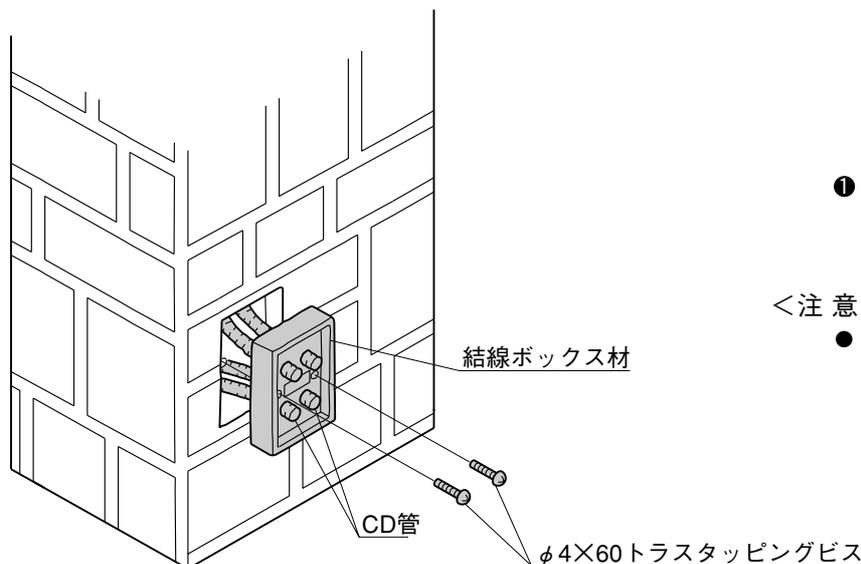


- ① インターホン子機を取付ける場合には、部品箱の中に入っているインターホン取付部品を図にしたがってφ4×20ナベタッピングビスで本体に固定し、インターホン子機の梱包内に入っているビスでインターホン子機を部品に組付けて下さい。

### <注意>

- インターホン子機はオプションです。結線および取付方法については、インターホン子機に付いている取付説明書をお読み下さい。
- 角門柱の場合、インターホン子機を図のように取付けることは出来ません。オプションのインターホンスタンドを使用して取付けてください。

## 15. 結線ボックスの取付け(インターホン・照明付の場合)

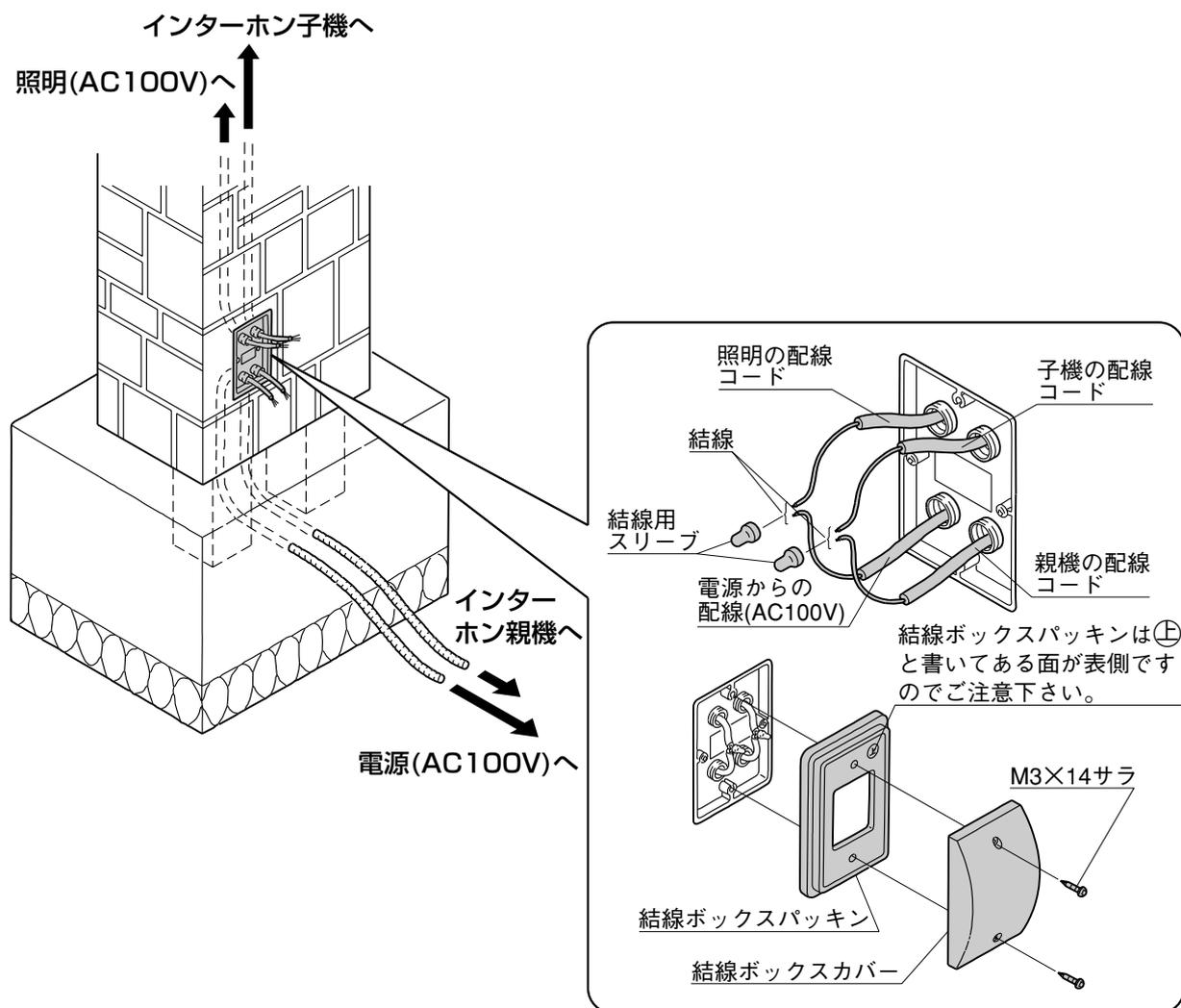


- ① 結線ボックス材を結線ボックス材取付ビス(φ4×60トラスタッピングビス)で取付けて下さい。

### <注意>

- 角門柱は、照明用のCD管しかありません。

## 17. 結線ボックス内でのインターホンおよび照明の結線方法



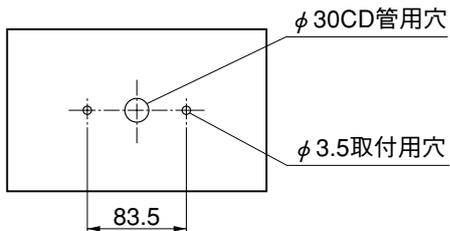
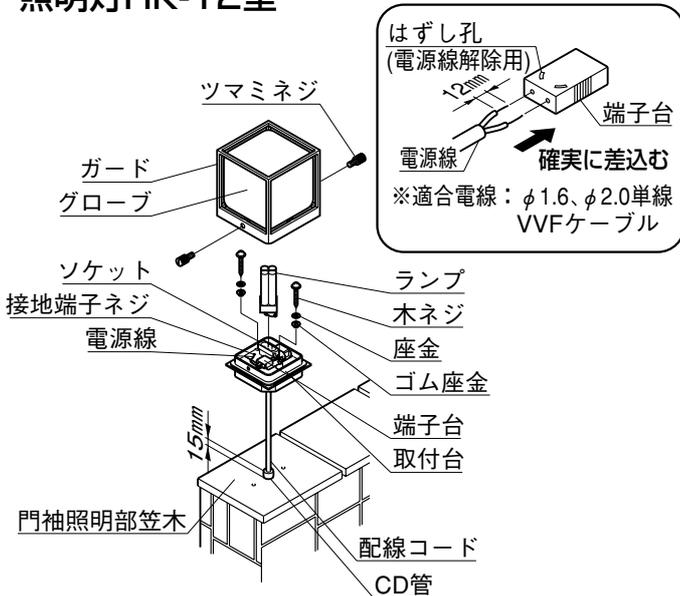
### <注意>

- 電気配線工事は必ず「電気工事店」(電気工事有資格者)様にご依頼下さい。
- 照明・インターホン用配線の詳しい結線につきましては、それぞれ付属の取付説明書および取扱説明書をご参照下さい。
- アース線の接地は必ず行なって下さい。
- 角門柱は、照明用のCD管しかありません。

- ① 結線ボックス内においてインターホン子機と親機との結線、または照明の結線を行なって下さい。
- ② 結線ボックスパッキン、結線ボックスカバーを下図のように取付けて下さい。

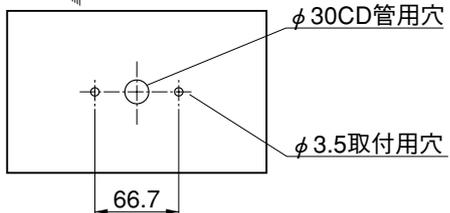
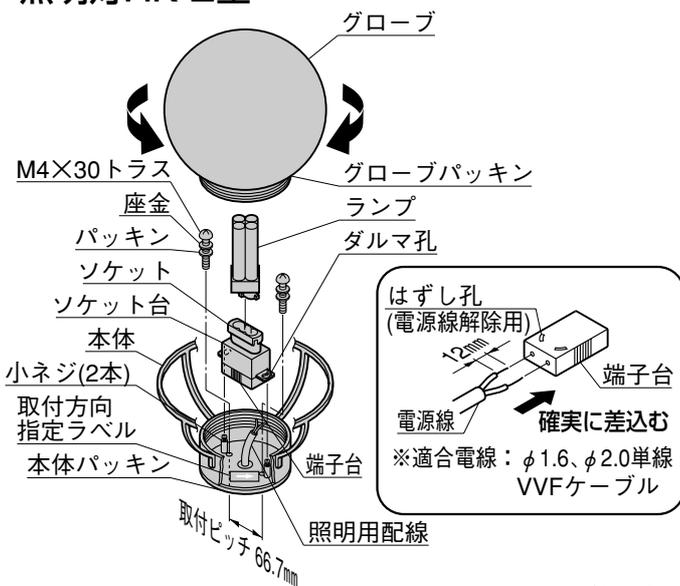
# 18. 照明灯の取付け ※配線および取付けは、必ず「電気工事店」(電気工事有資格者)様に御依頼下さい。

## 照明灯HK-12型



照明部笠木取付穴位置図

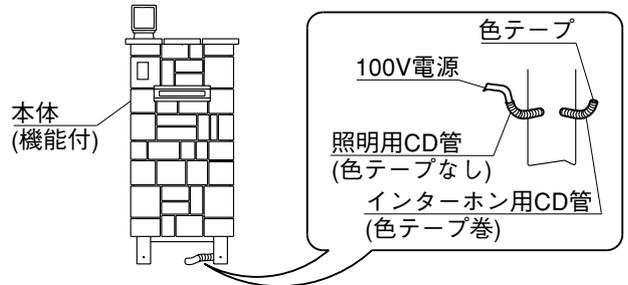
## 照明灯HK-2型



照明部笠木取付穴位置図

### <注意>

- 配線コードは、柱下部分から出ているCD管から通して下さい。



- ① 安全確保のため、家側の電源ブレーカーを遮断してから取付けをして下さい。
- ② 照明台からグローブをはずして下さい。
- ③ 照明部笠木に、照明部笠木取付穴位置図にしたがって下穴をあけて下さい。
- ④ 照明用電源線を灯具に通し、端子台に差し込んで下さい。

### <注意>

- 接続不完全や容量オーバーの場合、火災の原因になります。
- 電気用品取締法で定められたものは、第三種設置工事を必ず行なって下さい。火災感電の原因となります。
- ⑤ 台座クッション材又は、防水パッキンをはさみ込みながら取付ビスで本体を取付けて下さい。
- ⑥ 電球をソケットにセットして下さい。

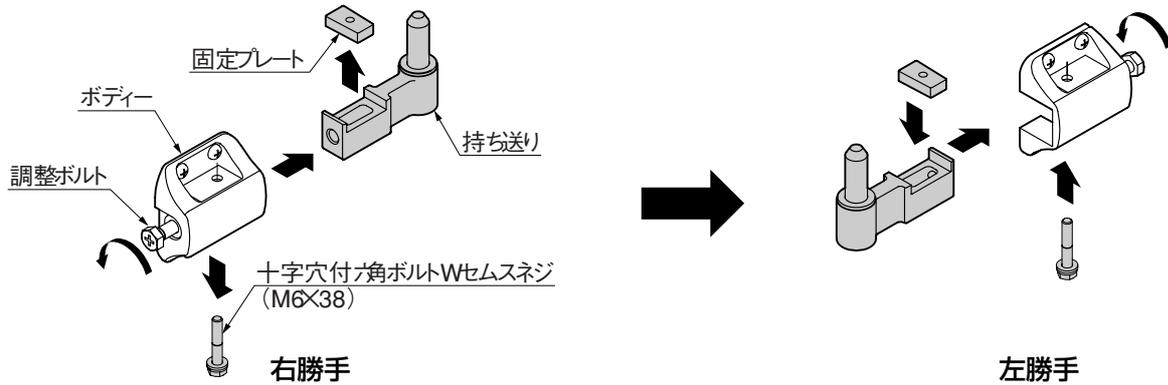
### <注意>

- ガラス管を強く握ったり、ひねったりしますと破損けがの原因となります。口金部をていねいに扱って下さい。
- 点灯中や消灯直後にランプを素手でさわりますと、やけどの原因になります。消灯10分後に行なって下さい。
- ⑦ グローブをはめて下さい。

### <注意>

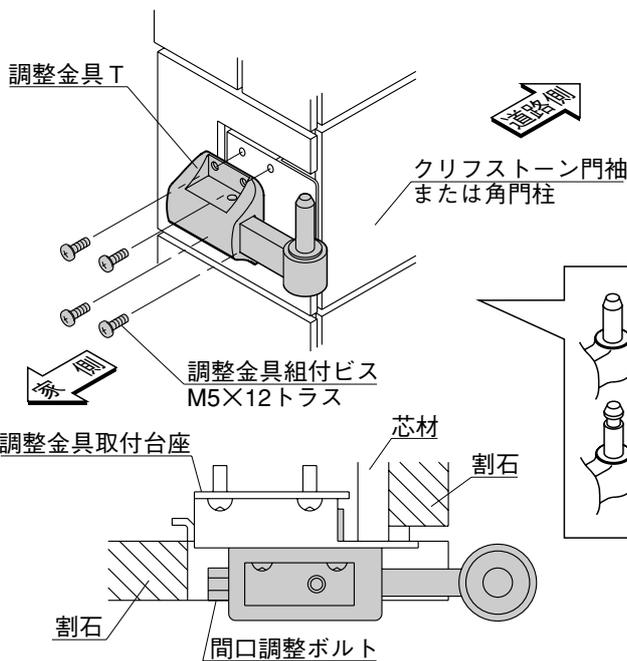
- 最後まで確実に取付けて下さい。締付けが不十分ですと、浸水、漏電、火災、感電の原因となります。
- 本商品は水平で平らな場所のみに取付け可能です。万一傾斜している場所や垂直な壁および逆さの状態を取付けられますと、落下、火災、感電の原因となります。
- 適合電球以外の電球は、絶対に使用しないで下さい。火災、器具故障の原因となります。
- 電球交換の時は、必ず電源を切って下さい。感電の原因となります。

## 19.調整金具の勝手変更(門扉仕様の場合)



- ① 「十字穴付六角ボルトWセムスネジ」を外して下さい。
- ② 調整ボルトをゆるめて持ち送りと固定プレートを外して下さい。
- ③ ボディーの向きを変え、持ち送りに固定プレートを乗せてボディーに挿入して下さい。
- ④ 調整ボルトを締めて下さい。
- ⑤ 「十字穴付六角ボルトWセムスネジ」を締め、持ち送りを固定して下さい。

## 20.調整金具の取付け(門扉仕様の場合)

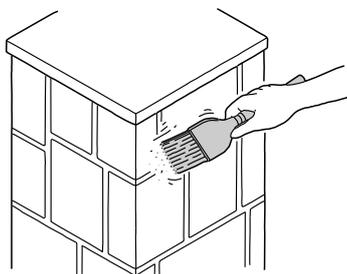


- ① 調整金具取付ビス(M5×12トラス)を用いて台座に取付けて下さい。
- ② 寸法の調整をおこなって下さい。  
(詳細は錠の取付説明書を参照して下さい。)

<注意>

- 調整金具には上下があります。

## 21.本体の掃除



- ① ブラシ等で本体の清掃して下さい。

## 22. 割石補修材の塗布

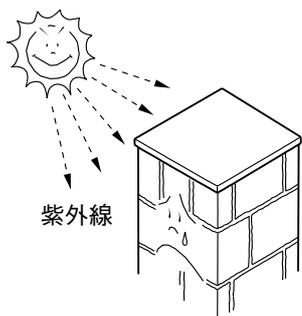
割石の補修用として同色の塗料を用意してあります。適切な補修をしないと色違いの原因となりますので以下の通り行なって下さい。

- ① 水：補修材＝5：1になるように調合します。
- ② 補修用フデを用いて割石のキズ、欠損部等に塗って下さい。
- ③ 塗料が目地につかないように注意して下さい。万一塗料が目地に付いた場合はすぐに水で洗い落として下さい。

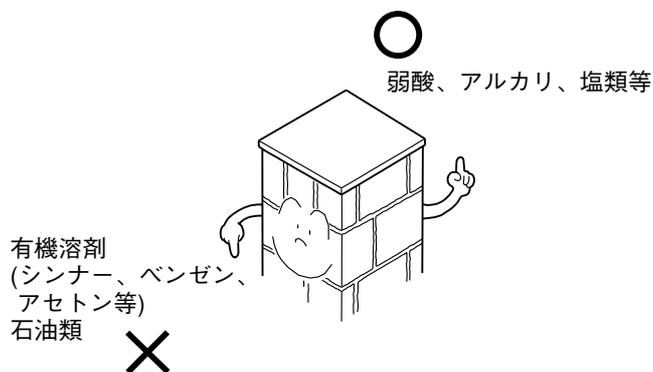
## 23. 施工上の留意点とお願い

■発泡芯材は太陽光線のもとに長時間放置すると紫外線により表面が劣化する恐れがあります。開梱、固定後はすみやかに割石張りを行なって下さい。日を置く場合は必ずシート、段ボール等で養生して下さい。

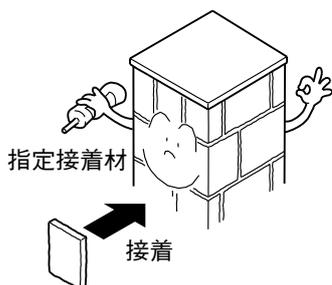
万一劣化等が見受けられましたら柔らかいブラシ等ですみやかにお取り下さい。



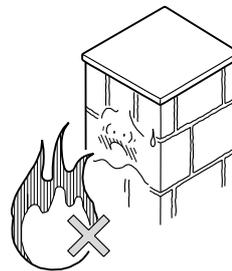
■発泡芯材の化学的性質は一般に弱酸、アルカリ、塩類などには優れた抵抗性を持っていますが、アルコール系以外の有機溶剤や石油類に侵される性質を持っています。



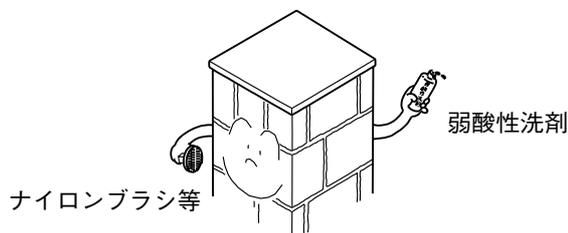
■割石の接着には必ず当社指定の接着剤を使用して下さい。他の物を用いますと接着剤に含まれている有機溶剤で発泡芯材が侵されたり接着不良を起こしたりします。



■発泡芯材は難燃材を含んでいますので微少火源では着火しにくくなっていますが、融解する性質があります。火気には十分にご注意下さい。また、80℃以上になると変形しますので、高温のものは近付けないで下さい。



■割石の主成分がセメント系であるため割石の内部および目地部分からカルシウム分が水分により溶け出し、表面に白いシミ(白華現象)が出る事があります。ナイロンブラシ等で白い部分を落とし、さらに弱酸性洗剤でふきとっていただければ簡単におとすことができます。





工事店様へ

- 仕上げ後、割石表面についているモルタル等は完全に拭き取ってください。  
硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- 御使用いただきましてありがとうございました。

取説コード  
**A338**  
200208A\_1001